

オリックス（株）との資本業務提携について

平成 24 年 2 月 17 日

株式会社河内屋

代表取締役 西仲 徳次

この度、弊社の更なる成長を目指し、平成 24 年 2 月 17 日にオリックス株式会社(本社：東京、東証一部上場企業)と資本業務提携契約を締結致しました。

現在、当社は営業力の強化、サービスの向上、信用第一を掲げ、日々社業に誠心誠意取り組んでおり、お陰様で業績も順調に推移しております。

しかしながら当社を取り巻く環境は、業界の再編への動きの活発化、食品業界等他業種大資本の当業界への進出の動きの活発化が顕著となってきており、将来に予断を持たない状況になりつつあります。

当社が、当業界での高い地位を維持し、永続的な成長を継続していく為には、従来通りの「未公開・単独資本」では、「今後厳しい戦いを強いられる」という認識を持っていたことも事実です。

当社がより高いサービスと企業体質を作り上げ、業界での地位をさらに向上させる為には、公開企業に準じた知名度、人材の獲得、経営体制の強化、サービスの多角化、同業へのM&Aなどにより、業界再編の主導権の獲得が必須であるとの結論に至りました。

この様な認識の下、「河内屋の将来」を様々な角度から検討を重ねた結果、河内屋単独ではなく、信頼できる企業との協業が極めて有効な手法であると判断し、この度の提携に至りました。

オリックス社には、その専門性や事業プラットフォームを活かした企業価値向上を支援して頂きます。物流ネットワークの形成やコーポレートガバナンスの高度化など将来の株式上場を視野に入れた体制整備の支援や他の業務用酒販会社とのアライアンス、資本業務提携など、さまざまな施策の立案・実行を協働して行っていく所存です。

当社は、今回の資本業務提携後も変わらず「株式会社河内屋」として展開し、お取引先の皆様にも今までと変わらない取引を継続させて頂く所存です。

私、西仲徳次は、オリックス社との「経営委任契約」に基づき引き続き持株会社並びに河内屋の代表取締役社長として、又経営陣もそのまま今まで通り河内屋の経営を続けて参ります。

引き続き社業に邁進し、オリックス社の後方支援も得て当業界のリーディングカンパニーの地位の構築を目指して参ります。

今後とも社員一同全力を挙げて社業に努め、お取引様の発展に微力を尽くす所存です。

何卒、今後とも格別のご支援、お引き立てを賜りますよう宜しくお願い致します。